

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 490

事務事業名	新「大村市立図書館」建設事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会事務局		
課名	教育総務課 新図書館整備室		
課長名	松山 敬之	内線	389
担当者名	前田 哲弘	内線	378

基本目標	010305	人を育むまち
政策		文化の振興と生涯学習の充実
施策		図書館の充実と整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	05	社会教育費	
目	03	図書館費	
事業コード	050000	新「大村市立図書館」建設事業	

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画	「県立・大村市立一体型図書館及び郷土資料センター」(仮称)整備基本計画	
重点事業	施設等整備事業(負担金含む)	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市立図書館		
意図 対象をどのような状態にしたいか	県立図書館が大村市の公有地に建設されることが決定したため、現在の老朽化・狭あい化した市立図書館を、県立図書館との合築により、市民の図書館利用を促進できるよう整備する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	基本計画策定後、基本設計、実施設計を経て、建設する。		
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 30 年度	実施方法	その他

成果指標名	新図書館の建設			算定式等	
着手前現状値	平成 23 年度	単位	式		0
完了後計画値	平成 30 年度				1

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額	5,400						5,400
	項目別進捗率	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
実施設計	実績・計画額		19,586	45,700				65,286
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	30.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額		6,105	61,069				67,174
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	9.09%	100.00%	100.00%	100.00%	
建設工事	実績・計画額		15,710	159,776	554,123	1,609,898		2,339,507
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	0.67%	7.50%	31.19%	100.00%	100.00%
事務費等	実績・計画額	2,917	1,442	2,199	6,595	7,771	1,709	22,633
	項目別進捗率	12.89%	19.26%	28.98%	58.11%	92.45%	100.00%	100.00%
合計	実績・計画額	2,917	6,842	43,600	273,140	561,894	1,611,607	2,500,000
	項目別進捗率	0.12%	0.39%	2.13%	13.06%	35.54%	100.00%	100.00%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,586	6,842	43,600	273,140	561,894	1,611,607	0	2,500,000
国庫支出金			18,796	71,887	267,407	691,910		1,050,000
県支出金								
地方債			12,900	139,700	244,500	653,700		1,050,800
その他								
一般財源	1,586	6,842	11,904	61,553	49,987	265,997		399,200
② 人件費(千円)	9,715	23,201	24,115	26,066	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	1.18	3.00	3.00	3.00	建築工事	建築工事		
時間外勤務(時間)	169	265	553	1200				
嘱託等人数(人)			1.00	1.00				
フルコスト(①+②千円)	11,301	30,043	67,715	299,206				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 <small>昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)</small>	新大村市立図書館及び新県立図書館の整備基本方針を基に、専門家会議等や県民市民の意見を聴取し、県市それぞれの教育委員会で承認を得て、平成26年7月、「県立・大村市立一体型図書館」(仮称)の整備基本計画を策定した。平成26年12月、建設工事設計業務のプロポーザル審査に着手した。審査の結果、最優秀提案者に特定した業者と、平成27年7月、契約を締結した。この設計業務は、平成28年9月に完了した。今後、平成30年度の竣工に向けて建設工事を進めて行く。
事業が抱える問題・課題等	県立図書館との合築での整備は全国的にも例が少ない状況で、県と市の負担割合や、開館後の運営方法など未決定の事項が多い。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	現在の大村市立図書館は、開館後40年を経過しており、施設の老朽化が激しく、人口規模に対して施設が狭い。そのため、蔵書保管場所に限界があり、人口1人あたりの蔵書冊数が県内の市町立図書館で最も低い。また、現在の多様化する市民ニーズにも対応できなくなっている。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県立図書館の整備計画に合わせて事業を進捗する必要があるため、緊急性が高い。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県立図書館との合築になることから、市立図書館の図書だけでなく県立図書館所有の図書も一同に開架できるため、近隣の図書館とは比較にならないほど図書の充実化が図れると同時に、運営面でも県と合同で運営することから、レファレンス面などのサービス面の充実やコストの削減が図られる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし	削減の余地あり	該当なし			
	県立図書館との合築になることから、基本設計・実施設計において、共有できるスペースを精査し、事業の効率化を図った。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし	見直しの余地あり	該当なし			
	全体の負担割合などは未決定であるが、サービスに見合った負担割合となるように県と協議を重ねる必要がある。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 <small>今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)</small>	今後も県と協議を重ねながら、計画に沿って事業を進捗していく。
効果 <small>事業の改善・改革によって期待される効果は何か</small>	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
意見等			内容			

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。